

モデルリスクコミュニケーションアンケート集計結果

※以下、意見交換参加者の方を「参加者」、それ以外の方を「傍聴者」としています。

1 あなたの立場は？

項目	参加者	傍聴者
市民	8	13
野跡学区 その他	3	0
事業者	1	8
行政	2	2
その他	1	1
合計	15	24

2 この会に参加して、ニチハ(株)名古屋工場の化学物質管理について理解できましたか？

項目	参加者	傍聴者
よく理解できた	3	3
だいたい理解できた	12	13
理解できなかった	0	2
合計	15	18

3 それぞれのプログラムについて

プログラム	項目	参加者	傍聴者
(1) 工場概要説明	よく理解できた	5	5
	だいたい理解できた	10	19
	理解できなかった	0	0
	合計	15	24
(2) 工場見学	よく理解できた	7	7
	だいたい理解できた	6	13
	理解できなかった	0	1
	合計	13	21
(3) 化学物質のリスクに関する説明	よく理解できた	4	7
	だいたい理解できた	7	13
	理解できなかった	0	1
	合計	11	21
(4) 環境への取り組みについての説明	よく理解できた	5	5
	だいたい理解できた	7	18
	理解できなかった	0	1
	合計	12	24
(5) 意見交換	よく理解できた	5	6
	だいたい理解できた	5	11
	理解できなかった	0	3
	合計	10	20

4 全体について

項目	参加者	傍聴者
非常に有意義だった	7	7
まあまあ有意義だった	4	16
有意義ではなかった	0	1
合計	11	24

5 今後このような機会があれば参加したいか。

項目	参加者	傍聴者
ぜひ参加したい	5	8
時間があれば参加したい	4	13
参加したくはない	0	0
合計	9	21

モデルリスクコミュニケーションアンケート 自由意見(1/2)

3 (1) 工場の概要の説明について

参加者	・よくまとまっております参考になった。 ・コンベアによりスムーズに製品ができるのには感心した。 ・とてもよくわかるように説明されました。
傍聴者	・工場の製品と生活との関連について理解できました。 ・製品内容や工程等細部までよく説明していただきよく理解できました。 ・製品が日常生活の中のどこで使われているかわかった。 ・説明が長く、もう少し要約されるべきである。

3 (2) 工場見学について

参加者	・初めての体験であり、参考になった。 ・整理整頓が出来ていて気持ちよかった。 ・トランシーバーが慣れておらず聞きにくかったが、目でみさせていただきよく理解できた。 ・楽しく見学させていただきました。流れ作業で人が少ないのにびっくりしました。 ・シンナー等の取扱について理解できた。 ・塗装の現場では気分が悪くなりそうだったが、人体に悪くないのか心配に思った。 ・作業員の少なさに驚いた。塗装作業員の健康が心配になった。 ・機械の大きさ、設備のよさ、又完成まで時間がかかること、よいものができることを楽しみにしています。 ・工場見学をした結果、よく説明が理解できたと思う。 ・粉じんや、臭いで体調を崩した方はいないとのことでしたが、あまりいい環境ではないと思いました。一緒にまわった女性の「主婦には関係ないわ」の一言で、現状やこれからどうしたらいいのかなど考えるきっかけになりました。 ・時間の関係もあるうが、排水処理、大気汚染防止関係の装置についても見学できれば良
傍聴者	・設備面でも以前に比べると改善されていた。 ・工場内の悪臭が気になった。 ・工場見学で喉が痛くなった。臭かった。 ・製品の製造工程の説明であったため、有機溶剤の大気排出、特に室内作業で発生した気体がどう大気へ放出されるのか説明があるとよかった。また、溶剤量が減少に向けて取り組みがあるのであれば、現場での説明に加えるともっとよかったと思います。 ・有機溶剤、騒音ともに改善すべきだと思います。 ・製造工程の説明は、だいたい理解できましたが、工程説明が主なもので、使用材料や環境面の整備状況等を説明してほしかった。 ・思っていたより塗装工程が多く、シンナー等薬剤が多いと感じました。 ・シンナー臭が酷い。有機溶剤用マスクを着用したほうがよいのでは。 ・塗装工程などは動いているほうが理解がしやすい。 ・4班にわけたのは良かった。説明もポイントを押さえていた。

3 (3) 化学物質のリスクに関する説明

参加者	・今少し自分が勉強しなくてはいけないのですが、説明への理解が難しかった。 ・化学物質の影響は量によるとのことが理解できた。 ・体に取り込んだ量で健康影響が出るということがわかった。 ・化学のことが難しいことがわかりました。もっと勉強しなくてはと思います。 ・とてもわかりやすく勉強になりました。
傍聴者	・一般的な説明としてはわかりやすく大変よいと思う。 ・PRTRについての説明があったほうがよいと思います。 ・詳細説明でよくわかった。 ・よく理解できたが、市民の方がわかったかは疑問です。 ・よく理解できたが、市民の方が理解するには少し難しいか。(特にベンゼン、トルエン、キシレン等の化学用語)

モデルリスクコミュニケーションアンケート 自由意見(2/2)

3 (4) 環境への取り組みに関する説明	
参加者	・平成22年を楽しく迎えられたらと思いながら聞いた。風向きによっては「臭いがきつい」「吐き気がする」「ベランダに出たときモヤがかかっている。」などの住民からの声がある。 ・水性塗料へ移行していくとのこと。 ・ニチハ名古屋工場の設備等努力が見られる。 ・会社の仕組み、消費者のニーズといろいろなことを考えるきっかけになりました。
傍聴者	・以前から比べると塗料が油性から水性に替えるという改善がされているようでよかった。 ・努力していることは理解できた。継続的な改善が今後必要である。 ・取り組みは説明があったが、削減方法、手段の説明がよくわからなかった。 ・化学物質の抑制の方法についても説明をした方がよい。

3 (5) 意見交換	
参加者	・梅ノ木荘に約3年ほどすごされた方(平成16年頃)が、ぜんそくが良くなっていないとのことでしたが、平成19年は随分違いがあることを伝えます。 ・異臭については3年前までで、VOC規制はOKであるとのこと。 ・シンナー中毒への心配が特に気になった。 ・ニチハ周辺の大気汚染について ・客観的に見せていただいて勉強になった。意見も率直なものが出てとても有意義でした。 ・正直に説明するのが正しいと思う。(事前に社内で意見交換もとんどんして) ・市民の日ごろからの思っている意見が素直に聞けたと思う。
傍聴者	・司会進行の方のまとめ方、進行が大変よかった。ある程度想定される質問が多かったが、従業員のことで質問があったのは意外だった。 ・木屑の堆肥化の廃止など改善について理解されたと思います。臭いが最大の関心事であり、PRTR物質についてはこのようなリスクコミュニケーションを通じて意識が上がると思います。(出席者からの横展開が必要) ・臭いや排煙等住民の方の思いと、アドバイザーの方の説明でよく理解できた。環境負荷物質の影響を住民の方が気にしていることがよくわかりました。 ・臭いの問題(シンナー臭以外のこと)はニチハに特定すべき問題ではなく、周辺工場の状況につき、行政やアドバイザーの説明があり一応収まったと思う。 ・もう少し時間があつたほうがよいと思う。担当者が説明、回答すべきである。

4 全体について	
参加者	・ニチハ名古屋工場の改善努力が見られる。 ・近所の方は尋ねたいことがたくさんお見えでしたがよかったと思っております。これからもこのようなことがあればよろしくお願いします。 ・リスクコミュニケーションというよりは従来の「住民説明会」というイメージであり残念だったので、今後の課題だと思います。ニチハのトップの工場長の話が多くあつた点がそういうイメージになったと思います。工場のいろいろな立場の方のお話を聞きたかったです。 ・意見の交換では、思っていたよりも多くの意見が出て良かったです。 ・もう少し時間があつたと思う反面、これぐらいが適当と考える点もあり、もっと積み重ねていくことが必要であると考えます。
傍聴者	・住民の方がどのあたりに興味を持っているのかがわかったのが良かった。このようなモデルケースを増やすことで、社会の考え方やリスクコミュニケーションの考え方が広まっていくと思 ・住民の方が気になっている点(黒煙に見えたとのこと)などが理解され、質問に対して回答が納得できるまで議論がありよかったと思います。消費者としても意識改革が必要であることも理解されたと思います。 ・意見交換で相互理解をしていく事は大変有意義であると思いました。運営や議事進行等内容を含めて、今後もリスクコミュニケーションは必要であると思います。 ・工場見学について、昔から住んでいる人の意見が多く、化学物質についての議論が今一歩という風に考えました。工場長の態度がフランクであつたが、粉じんを出しておいて消費者のニーズであるから仕方ないともとれる回答は疑問であつた。 ・行政、市民、アドバイザー、企業、各々の立場の人が参加しなければコミュニケーションは成立しないと感じた。また、行政のコメントが市民の判断に与える影響が大きいと感じた。 ・一つの意見について多くの時間がとられてしまう。もう少し深いとこまでいけたらよかった。 ・次回、次々回と続けてお願いします。